

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 会議		
日時	令和元年 7 月 29 日 (月) 19 時～21 時	場 所	福野庁舎 2 階 201 会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：6 名、地方創生推進課：2 名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	<p>◆当日配布資料の説明</p> <p>【資料の訂正あり】 (資料 1) 前回の会議録の 3 ページ目中ほど 中部地区の公民館 (交流センター) の維持費 (誤)300 円/年・世帯 →<u>正)250 円/年・世帯</u></p> <p>◆古瀬さんより、提出資料の説明 (資料 2)</p> <p>(資料 2 公共施設再編計画の視点からの試算 (修正案)) 廃止する施設の延床面積と、新しい核となる拠点施設の規模イメージとの比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Ⅱの住宅開発は、ファブリカ跡地の残りの部分で行うイメージ。 ●駅周辺整備について、まる嘉の前の道路 (市道東新町駅前線) は、敢えて一方通行か通行止めにした方がいいのでは。高校再編により、通学生が増えていると言われるが、実際のところは昔と比べれば減っている。今まで殆ど事故が起こっていないのだから、引き続き事故が発生しないような工夫を取り急ぎ行うべき。道路改良などの計画は時間をかけて取組めばよいのではないか。 ●今日は、古瀬氏からの資料に基づき、一つひとつ検討を詰めていく方法で良いか？ → (全員) 異議なし ●メンタルヘルスの関係は、どのように扱えばよいか。テナントとして入ってもらう方法しかないのではないか。 ●幼児子育て空間の機能について。市内の公立保育園には子育て支援センターが併設されている。利用実績がどの位なのか確認する必要もあるが、保育士が配置されていて相談も出来るし、遊具も充実している。このような現状で、今回のこの複合交流施設に改めてこのような機能を入れるというのは、子育て支援センターの機能とは違う、何か目玉があるということか？ ●幼児子育て空間は、特に専門家を置かずに、気軽に交流できるような場所の提供をするイメージ。 ●スペースがあるだけか？ ●基本的にはおっしゃるとおり。 ●メンタルヘルスコミュニティで言えば、「これだけのスペースが欲しい」ということではなくて、このエリアをどのようなイメージで捉えるのか、ということが大事。メンタルヘルスコミュニティに見合ったようなものでないならば、診療所機能は入らないだけのこと。 ●見合ったようなテナントスペースを検討しなければならないのではないか。以前の提案を伺って、もしそのようなニーズがあるならば、私たちも前向きに検討したいと思った。必要であれば、市に頼むのではなく、私たちで考えながら探さなければならない。需要はあると思っているが。 ●診療の需要はある。 ●その需要がどれだけなのか、また、どのような設備が必要なのが見えない。 ●たくさん需要があっても、応じてくれる医師が必要。私たちが頼んで引き受けてもらえるのか、あるいは、市長が頼みに行かないと引き受けてもらえないのか。それとも、ここにこんなスペースがあるからやってくれないか、と頼めば、引き受けてもらえるものなのか。そんな簡単に決まる話ではないと思う。 ●根本の話になるが、そんな大事な機能を複合交流施設の中に入れても良いものだろうか。切り離して、別棟にした方がいいのではないかと考える。 ●資料 2 にあるように、いろいろな機能があるけれども、果たして維持出来るのか。スペースがあるだけで人は来るのか？例えば、放課後児童の居場所づくりは、一体誰がお世話するのか？ ●私の地元の協議会では、部会として取り組んでいる。別の部会では、通所型サービス B の事業もスタートしている。中部の協議会でも、いずれは取組むべきメニューである。 ●誰が世話をするかと言えば、大まかに言えば、中部まちづくり協議会での組織体制の中で取組むのが一番良い。 		

→前回の議論では、福野中部公民館（交流センター）が中心となって、費用も市からの地域づくり交付金を中心に充てて、不足分はテナント料で賄う、あるいは、福野地域の各地域づくり協議会からのバックアップもあっても良いのかもしれないということであった。このように、福野中部まちづくり協議会が主体となって、という話になっていた。そこで気になるのが、提言に「賑わいを作ろう」と謳っているのに、交流センター主体の施設で、果たして賑わいが作れるのかどうかという点。資料5に、今後の検討点をまとめてみた。資料2にある面積は、これまでのご意見や古瀬氏のご経験や勘に基づいてのものとは推察するが、そのような考え方ではなく、どのような内容・規模のものが必要なのか将来的な利活用を見据えた検討が必要。

◆事務局から、資料5の説明

- ・資料2の「6 解決できる課題」の①②③に基づいて、項目毎に確認・検討すべき事項を挙げてみた。
- ・人口予測については、資料6を参考にされたい。
- 人口の観点から機能設置の判断をするのではなく、「これからどのような機能が必要か」という観点から判断するものである。高齢者を地域で見守る必要性も高まっており、市長からも通所サービスB型の取組みを頼まれている。高齢者も子どもも増減はあっても、少なくともゼロになることはないから、支援するスタンスは当然必要である。人口が減るから不要という議論ではない。
- 不要とは言っていない。必要な面積算出の参考にするなどに利用していただきたいということをご理解いただきたい。
- 資料では「ヘリオスや福野体育館を活用する」とあるが、活用しても拠点にはならないのではないかと。使用料を支払って使うような場所が、果たして拠点と言えるのか？
- 「拠点」として考えると、そこまでのものが本当に必要なのか、とも思う。若い人にとっては、中部公民館の機能を盛り込むのが本当に必要なのか。ヘリオスなどの既存施設をしっかりと活用していく方が、無駄なお金を使うよりも良いのではないかと。
- どんな風に活動出来るのか、責任者になったつもりでイメージして、発言してはどうだ。
- 先日から言っているのは、スクラップアンドビルドで複数の建物の1/2か1/3の面積の物を建てようということ、全く同様の物を建てるとは言っていない。ただ単に作ろうと言っているのではない。
- 私も検討会議のメンバーだったので、提言検討の経緯は十分理解している。しかし、ヘリオスも福野体育館の会議室も活用した中で、本当に必要な会議室の数を検討すれば良いと思う。
- 仮に複合交流施設を建てたなら、それを運営していくメンバーは何人位になるのか。福野中部まちづくり協議会の事務局は何人いらっしゃるのか？
- 事務局長に、事務局員2名の計3名で、常時2名が公民館に在席し、半日勤務である。
- 現実的な問題として、それだけのスタッフで、どのくらいの規模の施設を運営出来るのか？理想はあるけれども、なんでもかんでも機能を入れても運営することが出来るのか？
- これが、なんでもかんでも見えるのか？むしろ、まだ足りないと思っているのに。
- 建物の全てを、中部まちづくり協議会で見るとは思っていない。この内の500㎡程が協議会分として相当だろうと思っている。残りの1,000㎡程は、複合交流施設として、産業文化会館機能を入れるなど、交流センター以外の部分として見てもらわないといけない。中部の協議会の事務局だけで、この建物全体を見るのは無理がある。
- 仮に、指定管理になったら、どこが受け手になるのか？
- 福野中部まちづくり協議会で受けたいと思っている。現在も、産業文化会館の指定管理を受けている。このままの体制で受けたいと思っている。
- 小規模多機能自治を進める中で、指定管理との関係性は問題ないのか？
- それは、全く問題ないだろう。
- ゆくゆくは交流センターも指定管理になるのではないかとと思っている。NPOなりの法人格を協議会が取得して、ということになると思っているがどうか。
- 交流センターの管理の今後の方向性について確認しておく。
- 現状の施設規模であれば、交付金のうちの公民館管理費と1世帯年間250円の負担で賄っている。仮に、施設が大きくなると、他所の協議会と同額程度の負担を各世帯にお願いすることになるだろう。中部の人口規模なら500㎡程なら相当だと思っているが、これが建物全体1,500㎡程の維持管理費用を中部のみで賄うのは到底無理である。
- ヘリオスでやれるものならヘリオスでやっても良いが、一体どの部屋を使えばいいのか？
- 産業文化会館の年間16,000人の利用で、利用料収入はどれだけか？

→資料4でご確認いただける。

- 全国のどの例をみても、独立採算制の地域づくり協議会はない。
- 地域や民間にばかり負荷を課すようなやり方になっている気がしてならない。
- 合併して明らかに職員の数は減っているし、庁舎統合によって、市民センター以外の職員は福光へ行ってしまう。これまでと同様に行政に頼れなくなることは明らか。地域のことは地域でやるしかない。

●お金をどうやって生むか。

●物販やコンビニがテナントに入ってくれば、全く違ってくるのだが。

●公民館と複合交流施設とを分けて建てることも可では。今は一体的なものを考えているが。

●複合交流施設に、中部公民館が入るイメージか？

●その通り。しかし、中部だけでやるのではなく、福野地域全体で取組むイメージ。

●産業文化会館は、現在どんな団体が利用しているのか？

●夜高祭連絡協議会、ライオンズクラブ、学習塾、趣味のサークルなど。

●利用団体のリスト化が必要。利用人数、利用日数などの資料もあると良い。産業文化会館がなくなるのなら、今利用している団体の次の活動の場の確保が必要になる。

→産業文化会館の平成30年度の収入内訳は、利用料収入1,178千円、家賃収入326千円、指定管理料、繰越金。

●産業文化会館の魅力は、何と言っても利用料金の安さ。高くなったら、利用してもらえないかどうか。

→料金が高くても、利用してもらえよう魅力が必要になってくる。

●ライオンズクラブの立場から言わせてもらおうと、産業文化会館がなくなると、新たな場所で、事務室と例会用に広い会議室が必要になる。

●産業文化会館とヘリオスしかない。ヘリオスは料金が高いし、使い勝手が悪い。

●産業文化会館は、テナントとしての使い勝手が良い。

●事務室と会議室が隣接していないと使いにくいだろう。

●産業文化会館利用団体の今後の行き先を考えないといけない。活動場所がなくなったら、解散も有り得るだろう。現在の産業文化会館程度の利用料金で、事業計画をしっかりと立てて採算が見込めるようにしないとゴーサインは出せないだろう。

→交流センターに対する市からの管理費用は継続してあると思う。それよりも、必要最低限のやる事だけでいいのか？提言にあるような賑わいづくりの検討は必要ないのか。

●ボランティアグループの企画運営による、賑わい、交流づくりをイメージしている。

●必ずお金を生んで、そのお金で運営していくような仕組みが必要。ボランティアでは続かない。人件費を考えるなら、年間200万円程の収益は必要と考えている。

●産業文化会館の機能でその位確保出来ないと難しいだろう。

●中部の1世帯年間250円の負担は、現在の87㎡の交流センターに対する金額か？

●その通り。今の規模なら、このお金と市からの管理費で十分賄える。今後、面積を500㎡程にするなら、1世帯年間2,000円程にせざるを得ないだろうと思う。

●概算でもいいから収支予算書があると、次の検討もしやすい。

●それと、誰がやるのか、というのは大切。いくらボランティアでも動ける人は限られている。そんな人がどの位いるのか把握した上でも検討すべき。

→建物を建てるのは市で行っても、維持管理は市で見られない、ということはこれまでお伝えしてきておおり。そのことを踏まえれば、面積は必要なものだけとすべきであり、他地域との比較に因るようなことは避けていただきたい。また、ファブリカ跡地の産業廃棄物問題は解決していないと聞いており、少なからず、影響を受けるかもしれないことは了解いただきたい。

●今後の検討の中で、各々の根拠づけを整理しなければならないので、産業文化会館の利用団体と利用日が分かる資料をお願いしたい。

●了解した。

→各利用団体の利用日の調整が可能であれば、最低限必要な面積を捉えることが出来る。そして、維持管理費を抑えるように出来ればと考える。

◆次回会議

日時：8月26日（月）午後7時から

場所：福野庁舎2階 201会議室

内容：複合交流施設に必要な機能と面積、及び維持管理に係る経費の検討

◇産業文化会館の利用状況については、福野中部まちづくり協議会で作成

福野地域提言実現検討組織

【拠点づくりグループ】7/29 第4回

7/29
第4回

前回 中部まちづくり協議会の
拠点となる複合交流施設の
必要な機能と具体的な取組

駅東

川田工業もメリットがないと動かない。
条件によっては前向きにもたれる。

周辺農地の地権者は非常にのり気

まる嘉の前の道は一方通行か
中道東新助駅前線 通行止めにするべき

川田工業との関わりが非常に難しい。
空き家等活用グループでの検討項目なので、
この場では話し合うべきではない

古瀬氏提供資料について

幼児子育て空間 ⇒ スペース のみ

メンタルヘルスコミュニティ

- 必要であれば
- 需要はある。

医師は必要

良いと思えるならば市に頼むべき!

誰がするの??

地域づくり協議会の組織で行えば
良いのではないか?

複合交流施設に「中部まちづくり
協議会がまぜてもらおう」イメージ。

メインが中部ではない。

拠点 とは……

・事務室に常勤職員がおり、
その場所で、何かしらの
活動が行われる状態
と考える。

・今考えている複合交流施設を
中心的に運営してくれる人はどなた？

・指定管理の受け皿として中部まち
づくり協議会。産業文化会館と同様に。

・福野中部の人口規模から考えると、
交流センターとしては500m²が相当か。

・地域づくり協議会からのスタンスで考えると
賑わいづくりは別の話

・ヘリオスは使い勝手が悪い
料金も高い
・採算性のある運営を求めら
れても、地域は対応不可能。

・自分たちのことは自分たちで
出来るようにしなければと思うが。

・テナントにコンビニなどが入ってくれれば
ありがたいな～。

●従来の産業文化会館の利用者
が、引き続き利用できるように。

●産業文化会館の魅力は
料金の安さ

●次の活動場所の確保が必要

採算が合うような **運営人材**
事業計画が必要の把握 ②

- ・運営できる根拠に基づいて検討すべきでは。



※概算でもいいから、事業計画を立てるべき。

※運営スタッフの把握も大切。

今日の落しどころ



- ・どんな機能が必要なのか？

（建設費用は市）
（維持管理費用は地域） ← 要検討

① 他の地域と比較することなく、本当に必要な機能を十分検討してほしい。

② ファブリカ跡地の産廃問題が解決していない。



- ・メンタルヘルスコミュニティは検討から、一旦外す。

➡ その他のどんな機能が入るかもよるところが大きいため

- ・「賑わい」は、交流センターの活動によって自然と人が集まることで作られるといいな～。

次回会議



8/26(A) 19:00～

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 会議		
日時	令和元年 7 月 8 日 (月) 19 時～21 時	場 所	福野庁舎 2 階 講堂
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：8 名、地方創生推進課：1 名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	<p>→拠点施設を公共施設として整備する検討を進める場合は、公共施設再編計画で、市所有の公共施設の面積を半分にしなければ将来維持していけない、ということが判明している中において、将来かかる負担を考慮した上で、自立した取組となるよう、内容を十分に検討いただきたい。</p> <p>●公共施設の縮減について、他地域とのバランスはどうなっているのか。それぞれの地域が平等に 50%削減するのか。福野は人口が多く、減少割合は最も少ないし、公共施設の利用率も高いものが多い。さらに、施設数は多くなく、小中学校も一つずつという現状。他の地域にはすぐにでも削減できそうなものがたくさんあると感じており、まずはそこから進めてもらわなければ納得できるものではない。そういったことを踏まえた再編の進め方の方向性をはっきりと示した上で、今回の拠点施設整備の考え方を他の城端や井波についても統一して、将来のことを考えた判断をしていってほしい。</p> <p>→旧 8 町村の地域バランスを考慮して決めているものではなく、その施設の機能によって行政で持つべきか、もしくは、分類ごとの統合や複合化を図りながらでも維持すべきか、という判断によるもの。</p> <p>●五箇三村には施設が多く、どれも利用率が低いと思われる。福野・福光の施設のように利用率の高い施設がそれらと同じ扱いをされることのないよう、基準を明確にすべき。福野の各地区にある体育館が、他の地域と比較して贅沢だ、という意見も聞くが、利用率も考慮した上で判断されるべき。</p> <p>●旧町村の地域間で、感情的に言い争いしてみても意味がないことは分かりきっているが、福野は昔から周りに気を遣い過ぎるヨスマの考え方が根強く、後からになって後悔するようなことにならないよう、慎重になるべき。</p> <p>→福野地域の公共施設の合計面積は、小中学校も含めて約 10 万㎡ある。現在の公共施設再編計画の進捗から考えると、地域間のバランスがどうこうというレベルではないのではないか。今後、計画が進む中で、当然そういった視点も必要になってくると思われるが、それぞれの地域で施設を相当減らしていかなければならないということを理解いただきたい。</p> <p>●この会議の中で、南砺市全体の 50%の縮減について議論してみても前に進めない。また、今後、新しいものは何も作らないということではないだろう。そういうことから、福野地域として、新しい核となる施設は、スクラップアンドビルドの考えのもと、壊す施設面積の 50%程度に抑えて考えていけば、公共施設再編計画を踏まえたものとして説明がつくのではないか。こういう手法の積み重ねでも、最終目標の 50%に到達していくはずであり、壊すものと新たに造るものを試算してみた。</p> <p>◆古瀬氏より、提出資料の説明</p> <p>(資料 1 公共施設再編計画の視点からの試算)</p> <p>廃止する施設の名称と延床面積、新しい核となる拠点施設の規模のイメージ試算</p> <p>●廃止する施設面積の 50%という中で、よくまとめられているが、それで私たちが望んでいる施設ができるのか、ということが気になる。</p> <p>●行政はこの会議のメンバーに、公共施設の 50%削減を手伝わせようとしているのか。論点がずれていないか。</p> <p>●庁舎がなくなっても地域の活気を出す複合交流施設を作りたいという思いに対して、こちらから引き出しているもの。無くなる庁舎全体の面積は、今後、地域ごとの公共施設再編の議論が進んできた際には、当然考慮されるべきと考えている。</p> <p>●旅川福祉交流館の現在の機能は。廃止する施設として含めてもよいか。</p> <p>→現在、旅川福祉交流館を利用されている団体に係る機能については、今後の譲渡交渉も踏まえた上で、行政が代替機能としての施設を整備する可能性も考えられる。</p> <p>●旅川福祉交流館も含めるとすれば、その 50%は 1450㎡。まだ残り 600㎡近く、整備可能である。</p>		

- 公民館として整備する場合、補助金を受けることができるのでは。補助金が受けられるとなれば実行しやすい。既に名称は公民館ではなく交流センターとなっているが、機能として完全に分けることができれば可能性はあるのではないか。数年前に、教育委員会に公民館整備の要望として提出した施設整備案の図面があり、具体的なイメージは持っている。
 - 発達障害やメンタルヘルスコミュニティの関係については、南砺市全体で取り上げてもらって、進めてもらう方がよいのではないか。今考えているこの施設の中に一緒に取り込むとすれば、いろいろな課題がでてくるのではないか。
 - とりあえずテナントとして入れてある。他のテナント空間の面積については、広いものも要し、狭いものも要と思われるが、家賃も考慮した上で検討すべき。
 - 市に施設を建ててもらった場合のテナントの収益はどうなるのか。市の施設といえば指定管理ということになって、利益を上げてはいけないといった誤解もあると思われるが、建物を維持していく中で、少し増設したり、施設の内容を充実したりといった場合の資金として、蓄えておくというようなことはできないのか。
 - 現在の指定管理者制度では、利用率の高い施設であれば、ある程度の修繕などもすぐに対応できるが、そうでない施設の場合は、ちょっとした修繕でさえもままならない状況と聞く。今回の中央公民館的な施設は、収支ゼロになれば望ましいのかもしれないが、それを超える場合には、テナント料の値段設定と併せて、積み立てできる仕組みも検討して、持続可能な運営をすべきと考える。民間施設なら当然の考えだが、市の税金で建てる施設だから使ったもん勝ち、というものではないだろう。
 - 壊す施設の利用状況を考えれば、最低でも現在の産業文化会館にある会議室の広さや数は必要なのではないか。それから、産業文化会館に入居している老人クラブやライオンズの事務所の移転先をどうするかも考えなければならないのでは。
 - 我々は産業文化会館を解体すればどうかと提案をしているだけであって、実際に解体するのは行政。現在入居している団体の移転は行政で対応すべき。福光庁舎別館の入居団体の移転について、市が移転補償しているのと同じで、構う必要はないはず。
 - 会議室やテナントの広さについての、だいたいのイメージはこれでよいのではないかと思っている。メンタルヘルスのテナントを入れて、計1450㎡で提案すればどうか。基本的には中部まちづくり協議会が主体となった交流センターであるが、まちの拠点施設として、地域を問わずに、誰でも利用できる施設、ということにしたい。また、なぜこの機能が重要かということについて、「行政施策との関連」の欄に記載している。まず、市の取り組んでいる小規模多機能自治を推進するために必要な産業文化会館の代替機能、それから、高齢者を地域で支え合う体制づくりをするように求められていること、それから子育て支援という観点。どれも行政施策を進めるために必要なもの。
- テナント空間について、なんとなく面積などを決めておられるが、テナントによる収益を施設の維持管理費に充てる計画の中で、もしテナントが決まらず入らなかった場合、どうするつもりなのか。
- 当然、市から運営費を補填してもらおう。何もかも地域で管理しろというのか。市の考え方がおかしいのではないか。地域のために考えてやっていることであり、民間がやれないから行政に応援してもらおうのは当然のこと。
 - 市に甘えるのではなく、ある程度の計画案の中で、持続可能な形で、自分たちができること、できないことの線引きを決めていかなければならないのではないか。ぼんやりとした話ではだめだと思う。また、ある程度の形ができれば、民間でやる人も出てくるかもしれない。
 - こんな福野で儲かるわけも無いのにやる人がいるわけがない。都会でやるのとは違う。通りすがりの人が集まるわけでもなく、地域の人しか利用しない施設。民間でできるはずがない。地域だけで維持管理していくこともできない。そんなことから、施設整備の際にも電気代がタダになるような、太陽光パネルの設置など、配慮してほしい。お金をかけて、いろんな工夫もしてもらって、その上で、持続可能な方策を検討したい。

(資料2 持続可能な運営方法の検討案)

- 中部の交流センターとして整備するなら、中部の人たちにとって本当に何が必要なのか、ということをもっと詰める必要があるのではないか。
- 産業文化会館が無くなることを前提に、中部のまちづくり協議会の拠点施設が必要だと

いうことをイメージして具体化してみたもの。

- 産業文化会館の利用率は非常に高い。産業文化会館が無くなったら、代替の施設はなくてはならない。ヘリオスを代わりに使うということなど考えられない。
- 今後、公共施設を半減させなければ維持管理ができなくなるという中において、新たに設置する施設の維持管理費をどう確保していくか、しっかりと詰めていかなければ実現は難しい。行政からの多額の維持管理費を充てなければ維持できないというような内容では、数年後にすぐに再編の対象となってしまう。
- 当然、これから詰めていくが、我々だけでは詰められないことがたくさんあるし、造ったものを全部地域で管理しろと言われても無理がある。しかし、拠点施設の維持管理は、中部のまちづくり協議会への地域づくり交付金でほとんど回せるのではないか。不足分はテナント料等で対応することを想定すればどうか。
- それらの実施に係る採算性の確認を、このグループで行っていただきたいということ。
- これまでの産業文化会館の利用率や、新たな高齢者サロン等の参加者見込み、行政センターの利用者数なども加味して計画を作るということだと思うが、単に建物を維持管理するお金の採算だけで判断するのではなく、施設を建てたことによって交流人口がすごく増えた場合は、市民活動の場が増えたという点では税金を納めている市民の理解は得られるはずなので、テナントが埋まる、埋まらないの小さな話ではなく、どれだけの交流人口が見込めるかを試算した方が、説得力があるものになるのではないか。人が集まることで、テナントを出したいという人も期待できる。
- 現在、各地区の公民館（交流センター）の維持費は、各戸より徴収して対応している。南部地区は、2,000円/年・世帯、北部地区は、1,800円/年・世帯。中部地区は、現在、産業文化会館を活用していることから、300円/年・世帯となっているが、新たに活動施設を持つということになれば、当然、各戸でしっかりと負担していく。中部地区以外の方が利用される場合の使用料も検討していく。
- 今後、持続可能な運営方法を詰めていく必要があるが、運営上の観点では、地域での物品の販売や、障がい者の方のパンの販売なども行い、収益の一部から場所代をいただくことや、その他、維持管理のアイデアも考えていきたい。
- これだけの大きさの施設の維持管理費について、おおよその試算だけでも先に出してみないとイメージがつかみにくい。市の指定管理の例を基に、㎡単価など教えてほしい。
- 公共施設の縮減で、地域の賑わいも縮減していくのではなく、活気のある、にぎわいのある拠点施設にしていくことが目標。面積にはある程度の余裕は必要かもしれないが、決して大きいものを望んでいるものではない。木造平屋建てで、福野中部まちづくり協議会で管理できるもの。
- 市で建物を建ててもらおう。その後3年間の維持管理費は指定管理等で市に甘える。その後、中部まちづくり協議会を中心としたNPO法人やリノベーションスクールをベースにした民間組織で、完全に譲渡を受けて、運営していく、ということも考えたい。
- 基金の活用も含め、他のグループとの調整も行っていただきたい。
- メンタルヘルスコミュニティの機能については、テナントとして盛り込んである。本格的な医療機関として入るとすれば、もっと規模の大きいものになるのかもしれないが、詳細については提案された高橋さんの方で確認して進めていただきたい。
- 住民アンケートで個人病院が少ないという指摘もあったと思う。メンタルヘルスの専門医に限らず、この場所でやっていただければお医者さんが見つければ、入っていただくというスタンスでいいのでは。

◆次回会議

7/29（月）午後7時から 福野庁舎2階201会議室

（次回までに行政に求む資料）

- ・市内の指定管理施設の指定管理料の一覧資料
- ・H28, H29 公共施設情報（施設の利用率）の資料

福野地域提言実現検討会議 グループ1【新しい核となる拠点づくり】検討資料

I 複合交流施設

1 公共施設再編計画の視点からの試算（修正案）

(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルド で50%削減目標

新しい核となる拠点施設					廃止する施設			
施設名	行政施策との関連	区分	施設内容/規模のイメージ		延床面積(m ²)	施設名	延床面積(m ²)	
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		20	福野産業文化会館	1,062	
			大会議室	100名規模(100畳)	160	福野中部公民館	87	
			会議室2	45m ² ×2	90	ひびきの家	194	
			調理室		60	(福野庁舎)	(5,578)	
			物置等		20	内行政センター	285	
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	60	旅川福祉交流館	1,269	共同作業所はアグリカ跡地(マリン園)へ、就労支援はメールへ譲渡を検討
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	60			
			幼い子育て空間	子育て交流スペース				
	行政改革	行政センター	行政サービス窓口		150			
	観光の推進	産業・観光等PR空間			50			
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45m ² ×2	90			
	持続可能な運営	テナト空間	一般テナト	25m ² ×3	75			
			物販テナト	30m ² ×1	30			
			マルチホール(仮称)テナト					
	イベント空間	芝生広場へのイベント空間		50				
	その他空間	玄関/ロビー/廊下/トイレ空間等(延床面積×0.3)		250				
	(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)				
合計				1,165				
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積				(4,100)	廃止面積	(8,190)	
	今回廃止対象面積に対する50%目標面積				1,450	今回廃止対象面積	2,897	
	// 旅川福祉交流館除く目標面積				(820)		(1,628)	

- | | |
|-------------------|--|
| 2 場所 | ファブ 跡地 |
| 3 整備主体等 | 用地 南砺市
整備主体 南砺市 |
| 4 運営主体の検討（案） | |
| (1) 指定管理者制度 | ① 指定管理者（3年間程度?） |
| (2) 地域が主体 | ① 中部まちづくり協議会が中心となり、福野地域づくり協議会が支援する運営体制
共働き世帯の暮らしやすさを実現 例：子育て支援体制【先生(OB)による放課後児童の居場所づくり】 |
| (3) 民間が主体 | ① リハビテーションスクールをベースにした民間組織 |
| 5 持続可能な運営方法の検討（案） | |
| (1) 施設整備の観点 | ① 太陽光パネル設置による電気料の節減 |
| (2) 運営上の観点 | ① ネットによる収入 ② 地域での物品販売 ③ |
| 6 解決できる課題 | ① 中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保
② 核となり、賑わいを創出し、まちを活性化
③ 子育て支援、高齢者の居場所づくりなど |

II 住宅開発

- 1 現状と目標 ① 南砺市の人口減少対策を福野で実践。（南砺市外からの就労者が多い企業が立地する、福野地域の優位性を活かした定住化対策）
 目標 ② 保育園、小学校、中学校、高校、そして体育館、図書館等がエリア外に配置されているまちの優位性、教育環境の良さを生かす。
 ② 都市計画に沿った、「エリア外なまちづくり」を推進することにより、まちの賑わいと活性化を図る。

- | | |
|-----------------|--|
| 2 場所等 | ファブ 跡地、庁舎跡地（用地はいずれも南砺市） |
| 3 産官民による整備の支援体制 | ① 整備主体 民間宅地開発業者
② 行政の支援 「エリア外なまちづくり」の観点から、用途地域内で住宅開発を行った、住宅の購入者に対する市の助成制度を創設。
③ 市民グループ ボランティアの立場で、企業就労者へのPRや行政、民間開発業者との連絡支援。 |

Ⅲ 駅周辺整備の検討（参考）

1 現状 ①福光高校の廃校が決まり、その分福野高校に集約、生徒数が増加することが予想される中、福野駅から福野高校へ行く市道が狭く、列車から降りて来る高校生で、道路は一時車両通行止めの状態にある。

②福野駅前市営駐車場が狭く、わかりづらい。

2 福野駅から福野高校への歩行導線の整備

(1) 市道の部分的拡幅 ①歩道整備 ②側溝蓋掛けによる歩道空間の確保

3 駅東地区の整備

(1) 駅東地区の開発 ①駅東広場・駐車場を中心に、工業系、住宅系の開発（土地区画整理事業）

②10ha未満の土地区画整理事業の補助制度拡充

(2) 駅東側から福野高校への歩道整備 ①JR用地の取得

城端線への、駅東
口からの乗降

4 駅前の再整備

(1) 駅前駐車場の再整備 ①隣接地（JA跡地）を含めた駐車場の再整備

②駅舎内待合ゾーンの改修

③駅待合ゾーンの整備（JA跡地の活用と民活導入）

H30指定管理料

施設名	指定管理者名（現行）	H30年度
		決算額（千円）
南砺市大島コミュニティセンター	H29.4.1～譲渡	
南砺市小谷コミュニティセンター	H30.4.1～廃止（普通財産）	
南砺市上梨コミュニティセンター	H29.4.1～譲渡（コミュニティ） 体育館は直営	
南砺市岩渕コミュニティセンター	H29.4.1～譲渡	
南砺市下村コミュニティセンター	H29.4.1～譲渡	
南砺市利賀埋蔵文化財等展示保存学習施設	H29.4.1～譲渡	
南砺市阿別当伝統文化伝承館	H30.4.1～譲渡	
南砺市福野文化創造センター（ヘリオス） 喜知屋	ヘリオス運営共同体	76,079
南砺市井波総合文化センター	オカベ・ホクタテ共同体	52,139
南砺市城端勤労青少年ホーム	城端まちづくり協議会	4,416
南砺市桜ヶ池クライミングセンター	（特非）クラブJoy	35,193
南砺市城南屋内グラウンド		
南砺市城端西部体育館		
南砺市城端東部体育館		
南砺市城端ゲートボール場		
南砺市城南スタジアム		
南砺市城南テニスコート		
南砺市城南ターゲットバードゴルフ場		
南砺市城南野外ステージ		
城南中央公園		
南砺市城端テニスコート		
南砺市井波社会体育館	（特非）アイウェーブ	26,852
南砺市東洋紡屋外球技場		
南砺市井波八乙女体育館	（特非）アイウェーブ	
南砺市井波ゲートボール場	（特非）アイウェーブ	
南砺市いなみ木彫りの里テニスコート	（特非）アイウェーブ	46,170
南砺市福野体育館	（特非）ふくのスポーツクラブ	
南砺市福野B&G海洋センター		
南砺市旅川体育館		
南砺市福野北部体育館		
南砺市福野東部体育館		
南砺市高瀬ふれあい体育館		
南砺市福野南部コミュニティセンター		
南砺市アクティブ東石黒		
南砺市コミュニティ菅の山		
南砺市旅川グラウンド		
南砺市福野テニスコート		
南砺市福野マリンハウス	H24.4.1～廃止（普通財産）	
南砺市福光体育館	（特非）福光スポーツクラブ	25,724
南砺市福光西部体育館		
南砺市福光東部体育館	水口造園(株)	4,790
南砺市福光里山テニスコート		
南砺市福光里山体育館		
南砺市福光里山野営場	医王アローザ(株)	17,946
南砺市福光里山レクリエーション農園		
南砺市城端温水プール	医王アローザ(株)	57,930
南砺市福光プール		
南砺市福光総合グラウンド	庄川自動車(株)	0
南砺市福光屋内グラウンド		
南砺市クレ射撃場	（公財）世界遺産相倉合掌造り集 落保存財団	0
南砺市相倉民俗館1号館		
南砺市相倉民俗館2号館		
相倉合掌造り交流館 高桑家		
相倉合掌造り交流館 山崎家		
相倉合掌造り交流館 水口家		
南砺市相倉合掌資材庫1号		
南砺市相倉合掌資材庫2号		
旧図書家		
旧竹森家		
旧東山家		
旧窪田家		
旧高田家		
旧高田家土蔵		

施設名	指定管理者名（現行）	H30年度
		決算額（千円）
南砺市五箇山民俗館	菅沼世界遺産保存組合	0
南砺市塩硝の館		
旧野宇家		
旧中井家		
旧真井家板倉		
南砺市利賀芸術公園	（公財）富山県文化振興財団	8,036
南砺市いなみ交流館「ラフォーレ」	医王アローザ(株)	33,353
南砺市城端児童館「さくらっこ」	（学）福光キリスト教学園	29,873
南砺市福野児童センター「アルカス」		
南砺市福光児童館「きっずらんど」		
南砺市井波児童館「きぼりっこ」		
特別養護老人ホームいなみ	（福）福寿会	0
特別養護老人ホーム「福寿園」		
特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」		
デイサービスセンターいなみ		
旅川デイサービスセンター		
福野デイサービスセンター		
やすらぎ荘デイサービスセンター		
ふく満デイサービスセンター		
南砺市城端介護研修センター		
南砺市福野シルバーワークプラザ		
南砺市福野高齢者共同作業センター	（福）南砺市社会福祉協議会	7,293
南砺市城端老人福祉センター「美山荘」		
南砺市城端老人福祉センター「美山荘別館」	H30.4.1～廃止（普通財産）	
南砺市福光福祉の家「光龍館」	（株）技研サービス	10,017
南砺市城端高齢者生きがいセンター「ふれあいほうす」	H30.4.1～廃止（普通財産）	
平デイサービスセンター	（福）南砺市社会福祉協議会	31,278
上平デイサービスセンター		
利賀デイサービスセンター		
南砺市平高齢者生活福祉センター「つつじ荘」		
南砺市利賀高齢者生活福祉センター「ネイトピア喜楽」		
井口デイサービスセンター	（福）福寿会	0
南砺市上平高齢者コミュニティセンター「ことぶき館」	上平観光開発(株)	694
南砺市園芸植物園	（特非）なんと元気	25,940
南砺市井口カイニョと椿の森公園	（特非）なんと元気	15,410
南砺市福野農産加工研修展示施設	H29.4.1～譲渡	
南砺市高瀬コミュニティ施設	（特非）心泉いなみ	4,445
南砺市桜ヶ池自然活用施設「自遊の森」	（株）つなぐ南砺	10,270
南砺市桜ヶ池クアガーデン	（株）ジェイウィング	13,760
南砺市桜ヶ池農産物直売所	（株）リーフ	1,100
南砺市野尻緑地公園	コマツNTC(株)	0
南砺市原山牧場	H31.4.1～休止	1,140
南砺市北野軽スポーツセンター	H29.4.1～普通財産	
南砺市蓑谷生活改善センター	H25.4.1～譲渡	
南砺市研修施設「大鋸屋会館」	H25.4.1～譲渡	
南砺市研修施設「野口会館」	H25.4.1～譲渡	
南砺市野田農村婦人の家	H25.4.1～譲渡	
南砺市長楽寺集会場	H25.4.1～譲渡	
南砺市南蟹谷総合交流ターミナル施設（ぬく森の郷）	H29.4.1～普通財産	
南砺市南蟹谷中山間活性化施設（ぬく森の郷）		
南砺市鳥越農作業準備休憩施設	H27.4.1～譲渡	
南砺市上平堆肥舎	H29.6.27～譲渡	
南砺市利賀特産品等直売施設「とがとが」	H30.4.1～普通財産	
南砺市利賀農業拠点施設	H30.4.1～普通財産	
南砺市利賀高齢農業者生きがい農園等管理施設「河童の郷」	H31.3～譲渡	
南砺市つくばね森林公園	（有）高田造園土木	3,897
南砺市吉松集会所	H25.4.1～譲渡	
南砺市上原林業者会館	H25.4.1～譲渡	

施設名	指定管理者名（現行）	H30年度
		決算額（千円）
南砺市イオックス・ヴァルト	イオックスヴァルト企業組合	0
南砺市イオックス・アローザオートキャンプ場	医王アローザ(株)	30,000
南砺市イオックス・アローザレストラン「ワイスホルン」		
南砺市イオックス・アローザ資料館		
南砺市イオックス・アローザ交流センター		
南砺市イオックス・アローザふれあいセンター		
南砺市白兀展望塔		
IOX-AROSA		
南砺市利賀林業者宿泊研修施設	富山県西部森林組合	160
南砺市利賀ふるさとの森林	H29～休止	休止
南砺市福野産業文化会館	福野中部まちづくり協議会	4,693
南砺市井波物産展示館	H30.4.1～直営	
南砺市井波彫刻総合会館	井波彫刻協同組合	18,347
井波芸術の森		
南砺市井波商業観光拠点施設「よいとこ井波」	(株)まちづくり井波	5,328
南砺市城端織物会館	南砺市商工会	8,788
南砺市起業家支援センター	H30.4.1～直営	
南砺市街中にぎわい式号館	H31.4.1～譲渡	
南砺市福光会館	ふくみつ光房(株)	10,661
南砺市城端伝統芸能会館	(一社)じょうはな伝統芸能・文化を護る会	37,245
南砺市井波彫刻伝統産業会館	未定	直営
南砺市道の駅福光「なんと一福茶屋」	道の駅福光(株)	9,350
南砺市福光紹興友好物産館	(株)五箇山企画	0
南砺市国民宿舎「五箇山荘」		
五箇山和紙工芸研究館	(一財)五箇山和紙の里	21,644
五箇山和紙体験館		
たいら楮畑管理棟		
南砺市たいら郷土館		
南砺市五箇山和紙の里物産館		
南砺市たいらビジターハウス「おたに荘」		
南砺市たいらマウンテンスクール		
合掌造り宿泊棟・合掌コテージ	(一財)五箇山合掌の里	19,941
みどり館		
五箇山青少年旅行村		
五箇山生活館		
合掌体験館		
茅葺き技術研修施設		
野外ステージ・多目的広場		
合掌の里総合案内所		
合掌休憩所		
民謡の里公園		
南砺市上平農林業振興センター	H29.4.1～普通財産	
南砺市桂ビューロッジ	上平観光開発(株)	10,735
広場緑地等利用施設 休憩所		
広場緑地等利用施設 コテージ		
艇庫		
ビジターセンター		
オートキャンプサイト		
シャワー・トイレ棟	上平観光開発(株)	2,620
南砺市上平自然環境活用センター「ささら館」		
広場等利用施設管理棟	上平観光開発(株)	7,000
生産物直売・食材供給施設「どんぐりの館」		
長期滞在型宿泊施設「ふれあいハウス」		
タカンボースキー場公衆便所		
タカンボースキー場第1駐車場		
タカンボースキー場第1ゲレンデ		
タカンボースキー場第2ゲレンデ		
タカンボースキー場第3ゲレンデ		
タカンボースキー場		
西赤尾給水施設	H24.4.1～廃止（普通財産？）	
南砺市世界遺産菅沼合掌造り集落展望広場	菅沼世界遺産保存組合	0

施設名	指定管理者名（現行）	H30年度
		決算額（千円）
南砺市利賀農山村滞在型交流施設「スターフォレスト利賀」	（一財）利賀ふるさと財団	13,269
利賀そばの郷		
利賀瞑想の郷		
利賀国際キャンプ場		
利賀飛翔の郷	休止	休止
南砺市天竺温泉の郷	（一財）利賀ふるさと財団	26,098
スノーバレー利賀スキー場	休止	休止
スノーバレー利賀		
南砺市利賀みどりの一里塚サービスステーション「いっぷく茶屋」	H31.4.1～休止	1,098
南砺市たいらスキー場「ロッジ峰」	㈱長田組	31,436
たいら		
南砺市たいらスキー場クラブハウス		
南砺市たいらスキー場センターハウス「メープル」	㈱長田組	4,135
南砺市たいらスキー場クロスカントリー場		
南砺市ふれあい温泉センター「ゆ〜楽」	（特非）ワーカーズコープ	7,298
南砺市平ふれあい健康センター	上平観光開発㈱	12,866
南砺市くろば温泉		
南砺市赤祖父レイクサイドパーク	トナミグリーン㈱	5,380
南砺市井口体験交流センター（ゆ〜ゆうランド花椿）	トナミグリーン㈱	6,190
閑乗寺	休止	休止
閑乗寺公園	閑乗寺そよ風の会	7,090
合計		859,082

南砺市公共施設情報

A譲渡決定
B交渉中
C活用目的変更
D公募
E解体(予定含む)

住民基本台帳人口(E)	
H25	54,210 人
H26	53,582 人
H27	52,945 人
H28	52,242 人
H29	51,485 人

小分類	地域	所管課名	施設名称	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造	施設情報																													
							利用者数(人)(A)					収入(千円)(B)					支出(千円)(C)					コスト(千円)(D) (C)-(B)					利用者一人あたりコスト(円) (D)/(A)					市民一人あたりコスト(円) (D)/(E)				
							H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29
その他 消防施設	福野	総務課	消防団福野方面団高瀬西分団	62	平成27年度	木造	-	-	-	-	-	0	-	0	0	0	-	-	15	64	67	-	-	15	64	67	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1
その他 消防施設	福野	総務課	消防団福野方面団福野北部分団	60	昭和53年度	木造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	24	25	24	25	25	24	25	24	25	25	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
その他 消防施設	福野	総務課	消防団福野方面団福野分団	103	平成12年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	138	123	102	102	107	138	123	102	102	107	-	-	-	-	-	3	2	2	2	2
市営住宅	福野	都市計画課	もみじ野団地	1,717	昭和49年度	鉄筋 コンクリート	31	30	29	28	26	3,775	4,148	4,125	4,215	3,742	1,329	6,347	684	356	389	▲2,446	2,199	▲3,441	▲3,859	▲3,353	▲78,903	73,300	▲118,655	▲137,621	▲128,962	▲45	41	▲65	▲74	▲65
市営住宅	福野	都市計画課	旅川団地	1,736	昭和56年度	鉄筋 コンクリート	23	22	24	23	23	5,335	5,260	5,481	5,336	5,155	1,874	571	1,103	2,193	1,916	▲3,461	▲4,689	▲4,378	▲3,143	▲3,239	▲150,478	▲213,136	▲162,417	▲136,652	▲140,826	▲64	▲88	▲83	▲60	▲63
市営住宅	福野	都市計画課	梅ヶ島団地	1,849	昭和63年度	鉄筋 コンクリート	23	23	20	21	22	6,073	5,926	5,106	5,624	5,678	614	1,359	328	1,327	1,610	▲5,459	▲4,567	▲4,778	▲4,297	▲4,068	▲237,348	▲198,565	▲238,900	▲204,619	▲184,909	▲101	▲85	▲90	▲82	▲79
市営住宅	福野	都市計画課	クローンテム住宅	3,074	平成17年度	鉄筋 コンクリート	36	35	34	9	9	14,014	12,912	12,470	12,181	11,910	2,862	3,133	2,453	2,881	3,690	▲11,152	▲9,779	▲10,017	▲9,900	▲8,220	▲309,778	▲279,400	▲294,618	▲1,033,333	▲913,333	▲206	▲183	▲189	▲178	▲160
市営住宅	福野	都市計画課	柴田屋団地	1,866	平成6年度	鉄筋 コンクリート	17	17	21	23	21	6,571	7,319	8,305	9,897	9,471	487	313	909	380	367	▲6,084	▲7,006	▲7,396	▲9,517	▲9,104	▲357,882	▲412,118	▲352,190	▲413,783	▲433,524	▲112	▲131	▲140	▲182	▲177
市営住宅	福野	都市計画課	松原団地	1,703	平成8年度	鉄筋 コンクリート	23	22	23	20	21	9,423	9,148	9,421	9,476	8,584	120	234	581	690	422	▲9,303	▲8,914	▲8,840	▲8,786	▲8,162	▲404,478	▲405,182	▲384,348	▲439,300	▲388,667	▲172	▲166	▲167	▲168	▲159
公園	福野	農林課	安居緑地広場	115	昭和60年度	木造	608	717	782	517	817	0	0	0	0	0	2,455	1,571	1,531	1,041	2,711	2,455	1,571	1,531	1,041	2,711	4,038	2,191	1,958	-	-	45	29	29	-	53
公園	福野	都市計画課	やかた史跡公園	50	昭和63年度	鉄筋 コンクリート	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	460	333	328	308	264	460	333	328	308	264	-	-	-	-	-	8	6	6	6	5
駐車場、 駐輪場	福野	都市計画課	福野駅前駐輪場	351	昭和59年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	58	307	175	134	200	58	307	175	134	200	-	-	-	-	-	1	6	3	3	4
普通財産	福野	福野 行政センター	旧富山地方事務局福野出張所	194	昭和41年度	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-	-	-	-	50	50	50	1	0	192	192	0	2	0	142	142	▲50	1	0	-	-	-	-	-	3	3	▲1	0	0
普通財産	福野	財政課	旧福野第一保育園	1,043	昭和45年度	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-	-	-	-	0	0	455	207	0	158	158	41	7	4	158	158	▲414	▲200	4	-	-	-	-	-	3	3	▲8	▲4	0
普通財産	福野	財政課	旧福野北部保育園	660	昭和47年度	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-	-	解体	解体	0	750	741	解体	解体	53	503	4	解体	解体	53	▲247	▲737	解体	解体	-	-	-	解体	解体	1	▲5	▲14	解体	解体
普通財産	福野	財政課	旧福野安居保育園	305	昭和55年度	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	130	130	25	2	1	130	130	25	2	1	-	-	-	-	-	2	2	0	0	0
普通財産	福野	財政課	旧福野高瀬保育園	315	昭和56年度	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-	-	-	解体	0	0	0	0	解体	135	135	14	2	解体	135	135	14	2	解体	-	-	-	-	解体	2	3	0	0	解体
その他 公用施設	福野	建設課	福野西部防雪管理棟	529	昭和51年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
その他 公用施設	福野	医療課	松原医師住宅	100	昭和51年度	木造	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲60	0	0	0	0	-	-	-	-	-	▲1	0	0	0	0
その他 公用施設	福野	建設課	福野高瀬防雪管理棟	54	昭和55年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	24	25	25	24	25	24	25	25	24	25	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
その他 公用施設	福野	エコビレッジ 推進課	旧福野マリンハウス(エコビレッジラボ)	118	平成1年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
その他 公用施設	福野	建設課	柴田屋除雪機械格納庫	406	平成2年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
その他 公用施設	福野	福野 行政センター	柴田屋資材倉庫	502	平成4年度	鉄骨造	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	35	37	37	0	0	35	37	37	-	-	-	-	-	0	0	1	1	1
その他 公用施設	福野	市民生活課	福野斎場「棠苑」	670	平成7年度	鉄筋 コンクリート	336	356	343	383	430	8,800	9,254	8,605	10,020	11,296	18,794	20,342	18,752	18,956	31,775	9,994	11,088	10,147	8,936	20,479	29,744	31,146	29,583	23,332	47,626	184	207	192	171	398

福野地域 計 99,053 m²

どんな内容・規模の複合交流施設がふさわしいのかについて、例えば、以下のような確認・検討事項を踏まえて、将来的な利活用を見据えた、より具体的な検討をしていただきたいと思います。

①中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保

確認・検討事項

- 活動の種類は
- 活動への参加者数の見込みは
- 必要な設備、部屋、スペースは
- ヘリオスや福野体育館の会議室などを活用することはできないか

②核となり、賑わいを創出し、まちを活性化

確認・検討事項

- 核となり、賑わいを創出し、まちを活性化するために必要な機能とは
- 空き家活用グループから、にぎわいを作る機能として次のような提案があがっています。
(サウナ・図書館・飲食店・音楽室・調理室・屋内広場・学習室・バーベキューのできる芝生広場)
- 高橋さんから提案のあった、メンタルヘルスコミュニティの機能
- 対象とするのは誰か（地域住民・来訪者）
- どのようにしてそれを実行するか
- 必要な設備、部屋、スペースは
- ヘリオスや福野体育館の会議室などを活用することはできないか

③子育て支援、高齢者の居場所づくりなど

確認・検討事項

- 放課後児童の居場所づくりの設置

放課後児童クラブの現在の利用者数	登録者数（人）	開設日数（日）	延利用者数（人）
アルカスクラブ	82	292	12201
アルカスのびのびひろば (福野B&G海洋センター利用)	59	292	6561

- 今後の児童の人口推移予測は
- 幼児子育て空間の設置
利用者数の見込みは
今後の幼児の人口推移予測は
- 高齢者の居場所づくりの確保
利用者数の見込みは
今後の高齢者の人口推移予測は

必要な施設

福野地域 人口推計(現行推移モデル)

(単位:人)

	年齢層 性別\	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90~	小計	合計
		~4	~9	~14	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	~69	~74	~79	~84	~89			
予測値 2020年	男	235.4	276.2	293.9	272.2	250.7	305.5	310.9	360.7	426.0	482.5	378.9	370.5	412.7	456.0	588.0	359.2	228.1	172.8	73.3	6253.6	12841.4
	女	224.2	251.9	259.0	237.6	228.3	289.8	294.1	301.3	430.1	460.4	368.5	404.9	459.2	477.9	599.2	417.3	408.4	365.9	110.0	6587.8	
" 2025年	男	220.2	233.1	278.0	256.5	226.7	284.7	299.6	316.8	354.9	423.9	473.6	365.5	362.3	389.5	441.7	526.7	265.1	150.4	73.9	5943.0	12187.2
	女	209.7	226.8	247.1	238.5	194.4	272.2	287.9	286.8	300.7	426.7	447.6	363.0	402.5	446.1	469.4	565.7	373.7	341.9	143.3	6244.1	
" 2030年	男	206.8	218.0	234.6	242.6	213.6	257.5	279.2	305.3	311.7	353.1	416.0	456.9	357.4	341.9	377.3	395.6	388.7	174.8	67.4	5598.4	11475.0
	女	197.0	212.1	222.5	227.5	195.1	231.8	270.5	280.8	286.2	298.3	414.9	440.9	360.8	390.9	438.2	443.2	506.6	312.9	146.2	5876.6	
" 2035年	男	193.0	204.7	219.4	204.7	202.0	242.5	252.5	284.5	300.3	310.1	346.5	401.4	446.8	337.4	331.2	338.0	292.0	256.3	72.8	5236.2	10754.1
	女	183.9	199.3	208.1	204.9	186.2	232.7	230.3	263.8	280.2	284.0	290.1	408.7	438.3	350.5	384.0	413.7	396.9	424.2	138.3	5517.9	
" 2040年	男	178.8	191.1	206.1	191.4	170.5	229.4	237.9	257.3	279.9	298.8	304.4	334.3	392.4	421.7	326.8	296.7	249.4	192.5	98.9	4858.3	9961.3
	女	170.3	186.0	195.5	191.6	167.7	222.0	231.2	224.6	263.2	278.0	276.1	285.8	406.3	425.8	344.3	362.6	370.5	332.3	169.4	5103.0	
" 2045年	男	169.8	177.0	192.3	179.8	159.4	193.6	225.0	242.4	253.1	278.5	293.3	293.6	326.9	370.4	408.5	292.7	219.0	164.5	87.6	4527.3	9262.0
	女	161.7	172.2	182.5	180.0	156.8	199.9	220.6	225.5	224.1	261.2	270.3	272.0	284.0	394.6	418.2	325.0	324.7	310.2	151.2	4734.6	

2010~2015年国勢調査の変化率で推移した場合の人口予測

0~4歳区分のみ、女性の生産年齢人口、男女別出生率により変化率を算出

【予測値 2020年】

【予測値 2025年】

【予測値 2030年】

【予測値 2035年】

【予測値 2040年】

【予測値 2045年】

